

平成 27 年度事業報告書

I 事業の状況

I. 公益事業

1. 学術講演会の開催

第 111 回日本精神神経学会学術総会を、岸本年史会長、平井基陽副会長のもとに、平成 27 年 6 月 4 日～6 日の 3 日間開催した。大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪に於いて「翔たくわれわれの精神医学と医療-世界に向けてできること-」をテーマとし、特別講演 9 題、会長講演、先達に聴く 9 題、教育講演 28 題、会長企画シンポジウム 6 題、委員会シンポジウム 20 題、シンポジウム 30 題、臨床研修医演題 3 題、ワークショップ 18 題、JSPN Fellowship Award Symposium 4 題、市民公開講座 2 題の学術講演会を行い、一般演題（口頭・ポスター含む）70 題とあわせて活発な発表・討論がなされた。参加者数は延べ 7000 人を超え、盛会のうちに終了した。

2. WPA Regional Congress OSAKA Japan 2015 の開催

WPA Regional Congress OSAKA Japan 2015 を、Congress President の Dinesh Bhugra 先生、Congress Director の武田雅俊先生のもとに、第 111 回日本精神神経学会学術総会と同時開催した。「Asian Partnership in the world」をテーマとし、WPA Keynote Lecture 3 題、WPA Special Lecture 9 題、WPA Leaders Round Table 2 題、WPA Symposium 40 題を行い、活発な発表・討論がなされた。海外からの参加者数は 200 人を超え、盛会のうちに終了した。

II. 機関誌刊行物事業

(1) 精神神経学雑誌（和文誌）の刊行

- ・第 117 巻第 4 号より第 118 巻第 3 号まで月刊で 12 号、延べ 1,320 ページを刊行した。
（発行部数：第 117 巻第 4 号～12 号、第 118 巻第 1 号～3 号 約 7,000 部）

(2) Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の刊行

- ・第 69 巻 第 4 号～第 12 号、第 70 巻 第 1 号～第 3 号までの 12 号分、計 952 ページを刊行した。
（冊子体発行部数：各号 約 450 部、冊子体については 2 号分を 1 冊とし、計 6 冊発行）

(3) 上記 2 誌の定期刊行物の他、

- ・『精神科薬物療法グッドプラクティス』日本精神神経学会 精神科薬物療法研修特別委員会 編
（2015 年 6 月 30 日発行 新興医学出版社）
- ・『臨床医のための精神科面接の基本』日本精神神経学会 精神療法委員会 編
（2015 年 6 月 30 日発行 新興医学出版社）
- ・『日本精神神経学会 専門医認定試験問題 解答と解説 第 1 集 [第 1 回～第 3 回]』
日本精神神経学会 専門医制度試験委員会 著、編集（2015 年 6 月 30 日発行 新興医学出版社）

Ⅲ. 委員会活動事業

(1) 下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。

本学会基本理念のもと、精神医学・医療・保健・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組んだ。委員会活動は以下の6部門から構成され、幅広く活動を実施した。活動内容の詳細については、別紙・平成27年度委員会活動報告を参照いただきたい。

ー 平成28年3月時点での各部門に属する委員会（計49委員会）

■ 学術・教育部門

1. 精神科用語検討委員会/精神科病名検討連絡会
2. 精神神経学雑誌編集委員会
3. PCN 編集委員会
4. 精神医学奨励賞・精神医療奨励賞選考委員会
5. フォリア賞選考委員会
6. 学術総企画委員会
7. 精神医療・精神医学情報センター運営委員会
8. ICD-11 委員会
9. 精神療法委員会
10. 小児精神医療委員会
11. 司法精神医学委員会
12. 精神医学研究推進委員会
13. 認知症特別委員会

■ 専門医制度部門

1. 専門医制度常任委員会
2. 専門医制度整備委員会
3. 専門医制度卒後研修委員会
4. 専門医制度専門医試験委員会
5. 専門医制度研修施設群審査委員会
6. 専門医制度生涯教育委員会
7. 専門医制度指導医資格認定委員会
8. サマースクール実行委員会
9. 精神科薬物療法研修特別委員会

■ 精神保健・医療・福祉部門

1. 精神医療・保健福祉システム委員会
2. 精神保健福祉法特別委員会
3. 精神保健に関する委員会
4. 医療経済委員会
5. 精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会
6. 心理技術職に関する委員会
7. アンチスティグマ委員会
8. ECT・rTMS 等検討委員会
9. 多職種協働委員会
10. 性同一性障害に関する委員会
11. 薬事委員会
12. 災害支援委員会

■ 法・倫理部門

1. 法委員会
2. 医療倫理委員会
3. 倫理委員会

■ 広報・国際部門

1. 国際委員会
2. 広報委員会
3. 出版委員会

■ 庶務部門

1. 学会諸規則委員会
2. 情報システム委員会
3. 財務・特定資産検討委員会
4. 代議員総会議事運営委員会
5. 利益相反委員会
6. 情報管理委員会
7. 代議員選挙管理委員会
8. 男女共同参画推進委員会／女性会員活動活性化推進班
9. 各種委員会活動評価委員会

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

1) . 精神医学・精神医療奨励賞事業

・精神医学奨励賞

受賞者 : 山室和彦

・精神医療奨励賞

受賞者 : ささがわプロジェクト
(代表会員: 佐久間 啓)

2) . フォリア賞事業

受賞者 : 平石博敏・他

受賞対象論文: Unusual developmental pattern of brain lateralization in young boys with autism spectrum disorder: Power analysis with child-sized magnetoencephalography

V. 国際交流事業

世界精神医学会 (WPA)、その他精神科関連の国際学会との国際学術交流をはかった。

具体的には、以下のような活動を実施した。

- ・年次学術総会において、英語での演題発表ならびに海外からの参加者の受付を行った。
- ・海外若手精神科医を 111 回学術総会に招聘し、以下のシンポジウムの企画・実施、ならびに「JSPN Fellowship Award」を授与した。

<第 111 回学術総会 Fellowship Award Symposium>

- ・ Focusing on the link between non-psychiatric hospitals/clinics and psychiatric emergency service
- ・ Focusing on difficult cases encountered in psychiatric emergency services
- ・ Forensic psychiatry I: from the view of the psychiatry
- ・ Forensic psychiatry II: from the view of the law

<JSPN Fellowship Award 2015>

受賞者一覧

Sifat E. Syed (Bangladesh)

Ekaterine Berdzenishvili (Georgia)

Chung Hin Willy Wong (Hong Kong)

Giacomo Grassi (Italy)

Katarina C. Ninic (Slovenia)

Howard Ryland (UK)

Pichai Ittasakul (Thailand)

Gurdeep S. Grewal (Malaysia)

Karl Scheeres (UK)

Andrew T. Olagunju (Nigeria)

Sirijit Suttajit (Thailand)

Amir H. Jalali Nadoushan (Iran)

- ・国際学会にて口頭発表を行った日本の若手会員に、「国際学会発表賞」を授与した。
- ・個人発表部門 ※所属は応募時のもの

鶴身 孝介（京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学））

中神 由香子（静岡てんかん神経医療センター）

小口 芳世（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

本屋敷 美奈（大阪府こころの健康総合センター 相談・地域支援課）

青木 藍（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学分野）

・シンポジウム組織部門

白坂 知彦（手稲溪仁会病院 精神保健科）

石井 礼花（東京大学医学部医学系研究科心の発達医学分野）

・Royal Australia New Zealand College of Psychiatrists 大会に会員 2 名を派遣した。WPA International Congress ブカレスト大会に会員 1 名を派遣した。

・WPA 関連学会に、本学会の活動を紹介するパンフレット・ポスターを送付した

VI. 専門医認定事業

- 精神科専門医を目指す研修医からの研修手帳購入受付および研修開始申請書の受付を行った。
- 生涯学習活動の推進のための「生涯教育研修会」を平成 27 年 6 月 7 日に実施した。
- 精神科専門医制度指導医を対象とした「指導医講習会」を、平成 27 年 6 月 6 日、平成 27 年 9 月 27 日、平成 28 年 1 月 31 日に実施した。
- 若い世代に精神科の素晴らしさ・面白みを知ってもらい、精神科専門医となる人の数を増加させる為、医学部生・初期研修医等を対象とした「第 2 回精神科サマースクール」を平成 27 年 8 月 20 日～8 月 22 日の 3 日間、福岡で実施した。
- 平成 27 年 8 月 29 日、平成 26 年 8 月 30 日の両日に「精神科専門医認定試験」および「同（再受験）」を実施し、新たに精神科専門医を認定した。
- 平成 27 年 7 月より専門医を対象に「精神科薬物療法研修」を実施した（e-ラーニング）
- 「精神科専門医制度研修施設」の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 「精神科専門医制度指導医」の新規委嘱審査、更新審査を行った。
- 精神科専門医の資格更新審査を行った。
- 精神科専門医資格認定更新にかかる研修（単位対象）としての学会、研修会、研究会等の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 日本専門医機構の専門医整備指針に基づき、新たな精神科専門医制度の構築について、整備委員会ならびに常任委員会を中心に検討を行った。
- 平成 27 年 9 月 23 日に臨時代議員総会を開催し、日本専門医機構が提示する方針に沿った「精神科専門研修プログラム整備基準」と「精神科専門医更新基準」を承認し、両基準に基づいた新しい精神科専門医制度の規則とその細則を決定した。
- 新専門医制度の研修施設群構成に関する説明会を平成 27 年 10 月 25 日に東京、11 月 8 日に大阪にてそれぞれ開催した。
- 専門研修基幹施設申請予定施設を対象に、平成 27 年 12 月 13 日に説明会を開催した。
- 平成 28 年 1 月 20 日より 3 月 15 日まで新制度における専門研修プログラム申請書の受付を行った。
- その他、専門医制度委員会内の各委員会において、各担当事項について検討を行った。

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考え活動してきた。

■ プレスセミナーの実施

精神医学・医療にまつわる多くのセッションを扱う機会である年次学術総会の2週間前に、より多くの方にその内容に興味を持っていただき、また、精神医学・医療への理解を深めていただく目的で、報道関係者を対象に第3回プレスセミナーを実施し、50名を超えるメディア関係者が参加した。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員専用ページに、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報を本年度も多く配信した。

2013年度に開始した精神科専門医更新のためのeラーニングに今年も5本の動画を新規掲載した。

■ メールマガジンでの情報提供

メールアドレスを登録している会員に適時、メールでの情報配信を行なった。

以 上